



今しか味わえないスペシャルなスイーツが登場♪



バレンタイン期間限定 カフェレストラン「ル・タン」 St.Cacao Valentine スイーツバイキング 開催のお知らせ

ホテルグランヴィア京都(京都市下京区 代表取締役社長 土師総一)では、カフェレストラン「ル・タン」にて2015年2月1日~14日の期間限定で京都発カカオ専門店「Dari K(ダリケー)」とコラボレートした「St.Cacao Valentine スイーツバイキング」を開催。ホテルグランヴィア京都のためだけに作られた、期間限定オリジナルトリュフチョコレートをお楽しみいただけます。

Dari Kは①生産者の高品質なカカオの栽培技術の習得と所得の向上②加工者の高品質なカカオ豆の確保達成③消費者は美味しいチョコレートを楽しみ、その対価を支払うことにより生産者にも還元 という、生産者もチョコレートの加工者も消費者も、三者全てがWin-Win-Winの体制を構築するという、ビジネスモデルを構築したカカオ専門店として脚光を浴びています。

(詳細: Dari K ホームページ <http://www.dari-k.com/>)

当ホテルはこれまで、この生産者から消費者までのトリプルWinの考え方や、それにより産まれるカカオの品質の高さに感銘を受け、フランス料理「ラ・フルール」でコースを彩る食材として使用して参りました。この度、この京都から発信されている素晴らしい取り組みや、高品位な味を、同じ京都の仲間として、より多くの方に知って頂けないかと考え、コラボレーション企画を打診したところ、快諾いただき今回の企画が実現いたしました。

このような経緯を経て実施される「St.Cacao Valentine スイーツバイキング」では、通常のスイーツに加えて、Dari Kのトリュフチョコレート(おひとりさま一皿二粒)をお召し上がりいただけます。

植物性油脂やカカオバターを一切使用せずつくられたトリュフチョコレートは、カカオ本来の香りが口いっぱいに広がり、濃厚なのにさっぱりとした後味が感じられます。

プレーンタイプのトリュフチョコレートに加えて、今回提供される一粒は、フランボワーズの酸味と華やかな香りが特長の、ここでしか味わえない特別な一粒です。

近年ではバレンタインデーには異性へのプレゼントだけでなく、「友チョコ」や「ご褒美チョコ」といった、新たなカテゴリでの需要も生まれ、有名ショコラティエの限定チョコレートなどを自分用に買い求める方も多く見られるようになってきました。

今回の「St.Cacao Valentine スイーツバイキング」もまさにそのようなニーズと合致し、普段は控えめにしているスイーツを思いっきり召し上がって頂けるだけでなく、今しか食べられない人気カカオ専門店のオリジナルチョコレートまで召し上がれるという、一度に二度おいしい企画となっています。

当ホテルは、ブランドプロミスである「人と人との心をつなぐホテル」として、今後も多くのお客様に楽しんでいただける商品を提供いたします。

「期間限定 St. Cacao Valentine スイーツバイキング」

期 間 2015年2月1日(日)～2月14日(土)

アフタヌーン 毎日開催

ナイト 木～土曜日開催

時 間 アフタヌーン 15:30～16:45 (クローズ)

ナイト 21:30～23:00 (クローズ)

料 金 アフタヌーン大人2,500円、小学生1,700円、3才～小学生未満1,200円

ナイト 大人2,200円、小学生1,500円、3才～小学生未満1,000円

(全て税込)

内 容 スイーツ約20種、ハンバーガー等の軽食、サラダ、ソフトドリンクに加え、
期間限定ホテルグランヴィア京都オリジナルを含む Dari K のトリュフチョコレート
(おひとりさま一皿、二粒)



Dari K トリュフチョコレートイメージ



スイーツバイキングイメージ (2月)

Dari K 株式会社 (ダリケー)

創 業：2011年3月11日

代表取締役：吉野慶一

「カカオを通じて世界を変える」を企業理念に、生産者、加工者、消費者の三者全てが Win-Win-Win (トリプルウィン) となる体制を構築。

その他、様々な角度から世界の常識を覆すべく日々挑戦を続けている。

Dari K の由来

Dari K のカカオ輸入元であるインドネシア スラウェシ島。

その、スラウェシ島のカカオ生産を変革することによって、チョコレート市場のあり方を変えていきたいと考えている。

Dari はインドネシア語で「～から」という意味になり、また、カカオ輸入元であるインドネシア スラウェシ島を地図で確認すると、アルファベットの「K」の形をしている。

Dari K という社名には「スラウェシ島から、カカオを通じて世界を変える」という理念と、さらに「K」は Kyoto の頭文字 K でもあり、「スラウェシ島から。京都から。カカオの可能性を世界に発信する」という思いから名付けられた。



DARI K

【このお知らせに関するお問合せ・画像データのご用命は】

株式会社ジェイアール西日本ホテル開発/ホテルグランヴィア京都 営業推進室マーケティング・IT グループ

広報担当/木曾秀樹(きそひでき)・白谷宏徳(しらたにひろのり)

TEL075-342-5510/FAX075-342-5535/E-mail: h_shiratani@granvia-kyoto.co.jp